

透明性をもった情報発信が求められ、地元住民との丁寧な議論の継続が重要であると考えます。廃炉の最新の進捗、技術的成果を適時的確に発信する場、住民との対話の場として期待しています。

## 町民税務課

国では、デジタル社会の実現に向け、令和4年度末までにマイナンバーカードがほぼ全国民に行き渡ることを目指していることから、未申請者に対する申請の案内通知の発送を行い、当町では申請受付等の機会を増やすため、毎週火曜日の窓口時間の延長及び毎月最終日曜日の役場開庁に取り組んでいるところです。令和4年8月31日現在、本町のマイナンバーカードの交付率は、42.5%であり、令和



マイナンバー申請受付を強化している窓口

4年7月31日現在の県平均は40.6%、全国平均は45.9%となっています。

## 健康福祉課

7月5日から9日までの5日間、3密を防ぐために検診会場を町中央体育館とし、待機中の座席間隔を十分にとり、会場入り口においてコロナ問診を行うなど、新型コロナウイルス感染症対策を万全に講じ、総合検診を実施しま



合同サロン「たまり場・さんぽ道」の様子

した。受診者数は、国保特定健康診査436人、後期高齢者健康診査225人、社保被扶養者特定健康診査58人、その他の検診17人、合計736人でした。受診されなかった方の受診機会として8月28日、日曜日に検診日を設けるとともに、国保特定健康診査の未受診者に対して受診勧奨

通知を行い、受診率の向上を図りました。

また、女性特有の疾病である「乳がん・子宮がん」の早期発見・早期治療を図るため、7月1日から10月31日の期間、乳がん検診・子宮がん検診について検診日・検診場所を設定し、広野町保健センター又はいわき市の医療機関において実施しています。

7月13日、浪江町、大熊町、富岡町、楡葉町から避難している高齢者と広野町の高齢者が交流する場として、合同サロン「たまり場・さんぽ道」を広野町中央体育館で開催し、22名の方が参加されました。ニュースポーツ「ボッチャ」などを行い、楽しいひと時を過ごしました。

9月7日、令和4年度広野町敬老会を町中央体育館において開催し、結婚50周年を迎えられた6組のご夫妻へ福島民報社とともに金婚夫婦表彰を行い、最高齢者および満85歳以上の高齢者に対して記念品の贈呈を行いました。

## こども家庭課

7月22日、児童館において夏祭りを実施しました。浴衣や甚平を着た児童たちは、友だちと一緒にヨーヨー釣りや

金魚すくいなどを行い、夏祭りを楽しみました。7月29日、こども園において、令和4年度歳末たすけあい募金配分事業として、福島県共同募金会広野共同募金委員会から園児への読み聞かせ、音読に活用するため、絵本16冊の寄贈がありました。9月1日現在、こども園、児童館の在籍者は、こども園88人、児童館67人となっています。



福島県共同募金会広野共同募金委員会から園児に本の寄贈

## 環境防災課

6月20日、町と社会福祉法人友愛会は、「社会福祉法人友愛会との災害時における福祉避難所に関する協定」を議長ご臨席のもと締結いたしました。この協定は、町と社会福祉法人友愛会が相互に連携し、施設の一部を福祉避難所

警報が発表され、土砂災害等に備え警戒配備体制を敷き、夜間を通して気象情報の収集、関係機関との連携、対応に取り組みました。午後9時52分、大雨警報が解除され警戒配備体制を解除しました。この大雨による被害はありませんでした。



広野町防犯連絡責任者委嘱状交付式

た「プレミアム付ひろの商品券」の特設販売会を開催いたしました。7月19日から12月28日までは、広野町商工会館において販売しています。8月末日現在、1万3,306セット、額面にして1億9,959万円分の商品券を販売しました。

8月11日、二ツ沼総合公園において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、飲食物のテント販売及びステージイベントを中止するなど規模を縮小し、感染防止対策を徹底したうえで広野町の真夏の祭典「広野町サマーフェスティバル2022」を3年ぶりに開催しました。会場には、橋本徹県議会議員、議長、議員の皆様、多数のご来賓と町内外から訪れた約6,000名の皆様に夜空を彩る大輪の花を堪能していただきました。



夜空を彩った大輪の花火

6月16日と7月11日、JA福島さくらふたば地区本部が主体となり「あぜみち指導会」を実施いたしました。延べ59人の参加者に対し、水稻栽培管理、病害虫防除対策などについて説明を行いました。7月16日、17日の両日、広野町中央体育館において、福島県事業再開・帰還促進事業を活用し、町民の帰還促進と町内事業者の支援を目的とし

建設課  
町道北釜・大谷地原線道路整備事業については、7月20日、事業用地28件の地権者を対象とした事業説明会を開催し、うち8名の地権者参加のもと、事業内容について理解と協力をお願いしました。用地測量の実施につぎましては地権者の方々に測量の立ち入り許可をお願いし、境界立ち合い実施後、今年度内に事業用地を確定いたします。説明会に参加できなかった方につきましては、戸別に訪問し事業の理解と協力を求めています。

町道萱平線道路整備事業については、7月27日、事業用地25件の地権者を対象とした事業説明会を開催し、5名参加のもと事業内容について理解と協力をお願いしました。うち2件の土地は未相続の土地でありましたが、福島地方方法務局の協力のもと、法定相続人60名の氏名と住所が判明しました。今後、この多相続人の土地の取得に向け全力で取り組んでいきます。また、本路線内の2か所の橋梁については、橋梁の最適形式を決定する橋梁予備設計を同時並行で実施しており、年度内の完了に向け取り組んでいます。

環境防災課  
町道戸作線整備事業については、ふるさと農道から西側へ350mの区間の工事請負契約を締結し、現在工事着手の準備を進め、併せて工事施工中における通行止めとの協議を進めています。県道上戸渡広野線については、昨年度からの繰越事業として進めていた延長38mの局部改良工事が7月末に完了し、いわき市十文字地区まで通り抜けができるようになりました。

2級河川浅見川の改良復旧工事については、一部事業用地に未相続の土地があり、用地の取得に時間を要していましたが、無事解決し、7月に再度工事に着手しました。現在全体整備延長の96%の進捗となっており、早期完成に向け取り組んでいます。

環境防災課  
町道戸作線整備事業については、ふるさと農道から西側へ350mの区間の工事請負契約を締結し、現在工事着手の準備を進め、併せて工事施工中における通行止めとの協議を進めています。県道上戸渡広野線については、昨年度からの繰越事業として進めていた延長38mの局部改良工事が7月末に完了し、いわき市十文字地区まで通り抜けができるようになりました。

2級河川浅見川の改良復旧工事については、一部事業用地に未相続の土地があり、用地の取得に時間を要していましたが、無事解決し、7月に再度工事に着手しました。現在全体整備延長の96%の進捗となっており、早期完成に向け取り組んでいます。



町営学習塾開講式

## 学校教育課

6月25日、第7回目となる町営学習塾の開校式を行いました。平成26年度から実施している町営学習塾は、基礎学力の向上や自身の進路実現を見据えた対策、現役大学生の経験談や県外の教育事情を聴きながら、これからの社会を生き抜くための広い視野を持

7月7日、「広野町通学路交通安全推進会議」を開催し、児童・生徒の通学路における交通安全の確保と交通事故を防止するため、国土交通省東北地方整備局 警備国道事務所など関係機関・団体の皆様と昨年度に取り組んだ施策の検証と保護者からのアンケート調査結果をもとに通学路危険箇所の合同点検を実施しました。今後は、点検結果を踏まえ、各道路管理者や関係機関において、危険箇所等の対